

17.試験工事（河川浚渫土砂）

対象原泥	発生種別	地盤改良工事排泥	連続地中壁工事排泥	泥土圧シールド排泥	浚渫工事土砂
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比（%）	原泥 110% 貯泥・調泥なし			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5～15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路体(路床)	植生土壌
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	残土利用
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	TAST工法		
使用固化材	高分子凝集剤	S-1T			
	同上使用量（kg）	10kg			
	固化材	アッシュスター	エコハード	ハーデン	有機質対応型
	同上使用量（kg）	120kg			
リサイクル量	日平均施工量(m ³)	240m ³			
	総量（m ³ ）	5,000m ³	処理機構成	40m ³ 機×1台	

【概要説明】

本工事は、「公共工事等における新技術活用システム実施要領」、「新技術情報提供システム（NETIS）登録申請書の実施規約」に基づき、「試行申請型」によりイーキューブシステムを荒川下流管内の浚渫土の改良工事に試行し、事後評価の結果「少実績優良技術」として評価された。

改良土は河川護岸用の盛土材に流用できる品質に改良し、高水敷に試験的に利用。



一次処理（ゴミ除去）状況



浚渫土砂調泥状況



改良状況



改良土仮置き状況